

- 調査時点／令和3年6月1日 ○ 調査対象／当所管内の中小企業者等139社
- 回答企業数／137社(回答率98.5%)

*DI値(景気動向指数) $DI=(\text{増加・好転などの回答割合})-(\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

概況〈今期(令和3年4月～6月期)の概要〉

**景気判断DIは、回復の動きがみられるものの、
長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響で、先行き不透明感増。**



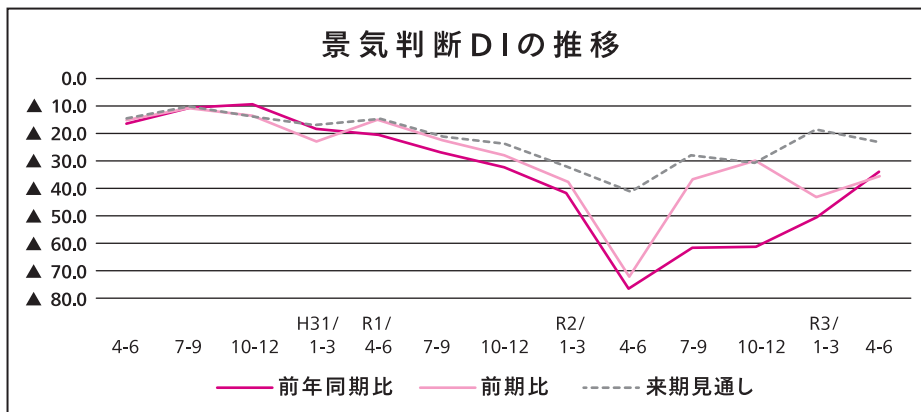
景気判断DIは、前期比ベースでは、製造業、卸売業、サービス業で回復の兆しがみられるものの、残りの業種では、マイナス値が拡大した。一方、前年同期比ベースでは、建設業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小し、回復した。



先行きについては、来期見通しDIで、製造業と小売業で回復が見込まれるものの、建設業、サービス業で、マイナス幅が拡大する予想となった。長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、依然として厳しい景況感が続く中、迅速なコロナウイルスワクチン接種による、民間(企業・個人)投資への意欲の高まりに期待する声も寄せられた。

I

① 管内景気動向 景気判断DI(「上昇した企業割合」-「下降した企業割合」の指数)



前年同期比ベース

▲33.6(↑16.8)

前期比ベース

▲35.0(↑7.7)

来期(先行き)見通し

▲23.4(↓4.3)

② その他DI

業況判断DI

前年同期比 ▲27.0(↑13.5)

前期比 ▲26.3(↑8.1)

来期見通し ▲21.2(↓5.2)

売上高DI

前年同期比 ▲19.7(↑21.5)

前期比 ▲35.8(↑2.4)

来期見通し ▲24.8(↓8.0)

雇用DI

前年同期比 4.4(↑2.9)

来期見通し 8.8(↑6.5)

採算DI

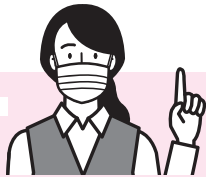
前年同期比 ▲21.9(↑21.6)

来期見通し ▲25.5(↓10.2)

業種別景気判断天気図

業種	前年同期比	前期比	来期	コメント
製造業				・新型コロナの影響で対面での営業活動ができず、単価見直しや新規引き合いの交渉は進んでおらず、先行き不透明感が高くなっている。(機械器具部品) ・前年同期と比較すると需要が落ち着き、売上、収入ともに減少となる見通し。ただし、コロナ拡大前と比較すると、むしろ業界全体としては明るいと思う。(食品)
建設業				・来期以降の景気・業況等の予想は、やはり、新型コロナウイルス感染症の終息状況に左右されるため、判断はしにくい。現在は1日当たりの感染者数がまだ多いものの、ワクチン接種が開始されたことで、民間(企業・個人)の投資への意欲が高まってくればとの期待をしているところである。木材不足と価格高騰が発生しており、今後の影響について、注視をする必要がある。(総合工事)
卸売業				・設備老朽化のため早く移転したいがコロナのため工事に時間がかかっている。(衣類)
小売業				・4月後半から感染が拡大し、売上が再度厳しくなっている。コロナ発生後は同様の状態が長く続いており、改善の兆しは感じられない(衣料品) ・今年の3月までは、そんなに悪く感じていなかったが、コロナ変異株の影響でさらに悪くなった。今期に入り状況は一変して昨年の数字に近い状況で低迷している。インターネット通販にも取り組んでいるが、十分な手ごたえは感じていない。(酒店)
サービス業				・コロナ禍で状況は厳しい。今後業界として転廃業が多いと思われる。(ビジネスホテル) ・緊急事態宣言から急速に悪化している。飲食以外も何か考えてほしい。(エステティック)
その他の業				・求人を出しても高齢者(65歳以上)しかこない。(倉庫業)

凡例					
	特に好転	好転	不変	悪化	特に悪化



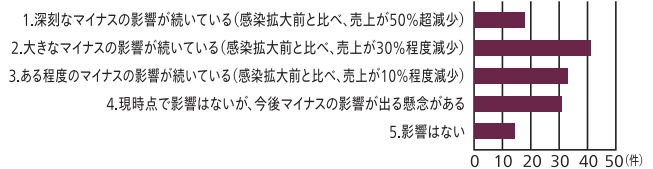
トピックス

新型コロナウイルスの感染拡大について (回答企業: 137社)

● 新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について

最も回答数が多かったものは、「大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)」で41社だった。次いで、「ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)」で33社、「現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある」が31社であった。マイナスの影響が出ている、今後出る懸念があると回答したのは全体の89%であり、影響はないと回答したのは11%であった。

新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について(回答企業:137社)

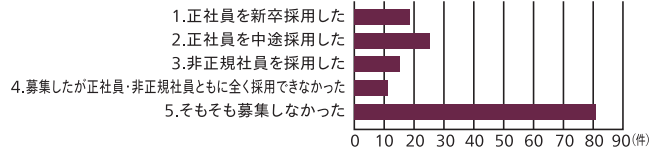


● 2020年度の採用(2020年4月~2021年3月入社)について

※複数回答可 ※非正規社員とは、契約社員、パート、アルバイト、派遣社員を指す。

2020年度の採用について、最も回答数が多かったものは「そもそも募集しなかった」で81件だった。次いで、「正社員を中途採用した」が25件、「正社員を新卒採用した」が19件、「非正規社員を採用した」が16件、「募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった」が11件であった。

2020年度の採用(2020年4月~2021年3月入社)について

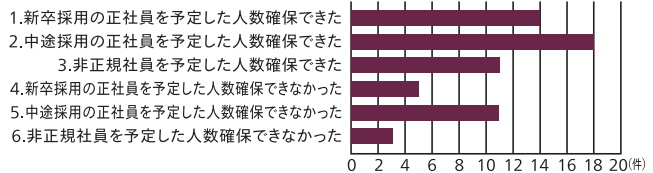


● 2020年度の採用における充足状況について

※複数回答可 ※質問(2)で選択肢1~3と選択した場合に回答

2020年度の採用における充足状況について、回答数が多かったものは、「中途採用の正社員を予定した人数確保できた」で18件、次いで「新卒採用の正社員を予定した人数確保できた」で14件、「非正規社員を予定した人数確保できた」、「中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった」が11件、「新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった」が5件、「非正規社員を予定した人数確保できなかった」が3件だった。

2020年度の採用における充足状況について



※詳細は、高松商工会議所ホームページ(<http://www.takacci.or.jp/>)をご覧ください。

お問い合わせ先

総務会員部 会員活動推進課 TEL 087-825-3501 E-mail kaiin@takacci.or.jp